

# 鹿屋市立鹿屋女子高等学校

## なのはな学校だより

令和4年4月22日発行〈第1号〉

### 「校長挨拶」



校長 永迫 昌毅

4月に校長として赴任しました永迫昌毅と申します。25年以上前には、教員に採用された初任地として本校に勤務の経験があり、普通科の担任を3年間勤め、卒業生を送り出しました。当時の生徒たちもとても優しく、挨拶などの礼儀もとてもしっかりしており、授業や学校行事を一緒になって楽しんだことを思い出します。

本校は「正しく、やさしく、すこやかに」の校訓の下に培われ

た、品位のある落ち着いた校風を持つ学校です。大隅地区唯一の市立女子高等学校として昭和33年に開校し、64年の歴史を刻みました。端正な服装や礼儀正しさ、奉仕の心など、地域の方々や地元の企業から高い評価を受けております。令和2年3月には新校舎が完成し、令和3年には、部室棟やテニスコート、グラウンドも完成しました。校舎の壁にはバラのレリーフがあり、上品な本校の雰囲気にとってもマッチしています。

新しい校舎以外にも本校の魅力はたくさんあります。部活動は多方面で活躍しており、九州大会や全国大会に出場する部もあれば、地元の企業等と連携して地域貢献をしている部もあります。また、情報ビジネス科、生活科学科の専門学科においては、資格取得で素晴らしい成果を収めておりますし、普通科においても、国公立大学をはじめ、多くの生徒が上級学校に進学し、自分が望む進路実現を果たしています。また、令和2年度から始まった「総合選択制」の授業も魅力の一つであり、教科・学科の垣根を越えて、自分が学びたいものを学べる体制ができています。

4月7日には新入学生168人を迎えました。本校の生徒、職員ともに、これまで以上に生き生きとした姿を皆様にお見せすることができるよう、精進を重ねてまいります。これからも、御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

## 第65回入学式

4月7日(木)、168名の新入生を迎え第65回入学式が挙行されました。新入生の代表者は、伝統ある鹿屋女子高の生徒としての自覚と誇りを持ち、自己の目標の実現に向け

日々努力を続けると宣誓しました。また本校では、1学年のみ二人正担任制を導入し、2人の正担任と副担任の計3名で生徒に寄り添った丁寧な指導を行います。感染症対策を取りながら音楽部からの校歌紹介や吹奏楽部の演奏で、盛大に新1年生を迎えることができました。鹿屋女子高校生として「正しく、やさしく、すこやかに」大きく成長してほしいです。



## 対面式・部活動紹介

4月8日(金)、対面式ならびに部活動紹介を行いました。学科ごとに行われた対面式では2・3年生から組章とメッセージカード

が贈呈されました。感染症対策で長く言葉を交わすことはできませんでしたが、顔を合わせてオリジナルメッセージを手渡することで交流を深めることができました。

対面式に引き続き、部活動紹介が行われました。文化系・運動系、計21の部活動が工夫を凝らしたパフォーマンスで、それぞれの活動を紹介しました。ぜひ色々な部活動を見学して自分に合った部活動に入って青春を謳歌してもらいたいです。



鹿屋女子高校の詳しい情報をホームページに掲載しています。鹿屋女子高校で検索してください。



ぜひ遊びに来てね!



公式マスコットはなちゃん

鹿屋女子高

